

ご挨拶

校長 村井 浩昭

吉田高等学校同窓会の皆様には、平素より温かいお力添えをいただき、心から感謝いたしております。本校での勤務も二年目となり、昨年一年間を振り返っても、めぐる季節ごとに移り替わる豊かな自然と触れ合う人々の優しさに薫陶を受け、吉田高校に勤務することに幸せを感じる事が日増しに強くなってまいりました。

3月1日には115名の生徒が学び舎を立派に巣立ち、同窓会の仲間入りをいたしました。今年になって少しずつコロナの状況が和らいではきましたが、結局この春の卒業生は三年間をコロナに振り回され、高校生活をマスクに覆われて過ごしました。三年間一度も合唱することのなかった校歌をやっと奏でることができたのが卒業式でした。コロナを耐え抜き、新しい環境下で工夫した生活を送ったという自信を持って未来へ羽ばたいてくれると信じています。そして、この春新生106名を迎え入れ、普通科2クラス、工業科2クラスで入学式を挙行することができました。5月8日には、新型コロナウイルス感染症も5類に引き下げられ、学校行事や集会等も対面で行うことが多くなっています。この三年間で培ったICT活用も定着し、対面とICTのよさを融合させながら教育活動の改善を図っております。

部活動では、春の大会で野球部が愛媛県ベスト8となり、地域に活気を与えています。この同窓会報に目を通す時期といえは夏の地区予選終了の頃。本校は、二回戦で敗退となりましたが、粘り強い試合内容は称賛に値するものでした。6月に行われた県総体には、バレーボール部男子、バスケットボール部男子、卓球部男子、剣道部男子女子、ソフトテニス部男子女子、弓道部男子、陸上競技部の総勢71名が出場いたしました。また、ものづくりコンテストにおいて、木材加工部門2名、電気工事部門1名が出場しました。木木材加工部門は、愛媛県大会、四国大会ともに一、二位を独占し、第一位の生徒が、若年者ものづくり競技大会、高校生ものづくりコンテストという全国大会へ出場いたします。

5月25日には、第1回同窓会並びに同窓会後援会の役員会があり、終了後には懇親会が行われました。同窓会の皆様にとっても久しぶりの対面での飲食を伴う会だったようで、この数年で共有できなかった思いが積み重なり、真のつながりを築こうとする雰囲気が伝わってまいりました。

今年度の重点努力目標は昨年度に引き続き「情理を尽くし、自ら考え、行動する生徒を育成する—精神を修め、知と技を練る吉田高校—」です。「情理一体の教育の実践」という教育理念に基づき、バランスのとれた生徒の育成を目指したいという思いから定めております。また、スクールミッションを「宇和島市にある普通科と工業科の併設校として、一人一人の個性を伸ばし、幅広い進路希望に応えます。また、学校での学びと社会をつなげる探究型学習を通して、課題を発見し解決する学習やものづくりに取り組むとともに、未来を切り拓く資質・能力を育成します。」と策定しました。時代に必要とされる人材を育成するために、普通科・工業科併設という珍しい環境を生かし、探究活動や課題研究を通して、自ら課題解決に取り組む人材を育成することに力を注いでおります。更に今年度グランドデザインを作成して、育みたい資質・能力、目指す方向性や特色を明確にいたしました。ホームページに掲載しておりますので、ぜひ御覧ください。

これからも、学校生活のあらゆる場面で生徒の潜在能力を引き出し、適性に応じた教育を推進してまいりますので、御支援、御協力を継続していただけますようよろしくお願いいたします。